



私たちのキーワード

文章の自動生成機能により
不動産契約書類作成の負担を軽減

不動産データバンク株式会社

不動産会社向けに業務効率化システムを提供し、 業務インフラ企業を目指す

テーマ

不動産売買の契約書類作成を効率化する クラウドサービスの提供事業

事業内容

2017年にIT活用による不動産業の効率化を目指し設立。中古マンションの売買取引に特化した重要事項説明書データ提供サービスを開始し、上場不動産会社を中心に5年間に700件超のマンションの調査、重要事項説明書の作成業務を受託。2018年より重要事項説明書作成業務のシステム化に取り組み、2023年にクラウドサービスとしてリリース。



代表取締役：宮崎 浩太さん

「重説」作成の負担を軽減し 業務を効率化するクラウドサービス

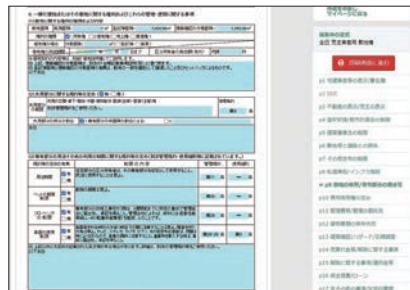
「重説」とは、不動産売買取引の際、売買契約の締結に先立ち買主に対して契約上の重要な事項を説明する「重要事項説明書」の略。宅地建物取引業者は買主に対し説明を行うことが宅地建物取引業法により義務付けられています。説明内容は多岐に渡り、ミスも許されないため、その書類作成は重い負担になっています。不動産データバンク株式会社では、こうした不動産契約書類の作成を効率化するシステムを開発。クラウドサービス「マンションBJ-cloud」として2023年1月より提供を始めています。



売買契約書・重要事項説明書をスマートに作成できるシステム「マンションBJ-cloud」のログイン画面。

大規模なシステム開発を 本事業の支援により実現

本事業の支援を受けようと思ったきっかけは、このクラウドサービスは、かなり規模の大きなシステムの開発になり、自社単独での取り組みが困難と考えられたことから。「当社は過去に公社の他の助成金を利用したことがあり、他にも支援制度がないかと調べてみたところ、本事業がぴったりと当てはまりました」と話すのは代表取締役の宮崎浩太さん。「プロジェクトの期間・予算ともに当初の予定を大幅に超過しました。本事業のサポートがなければ、途中で事業化を断念した可能性もありました」と宮崎さんは振り返ります。



重説の編集画面。文章の自動生成機能により、誤字脱字を含めたミスが劇的に低減し、書類作成時間を半減させることが可能に。

ノウハウを学び、帳票・書類作成 システムの可能性が広がる

初めての大規模開発だったため、当初は外注先の選定やプロジェクトの管理などが上手くいかず、試行錯誤したそう。不動産売買という間違いの許されない取引書類の作成のため、実務に耐えるシステムの構築にあたってテストと修正を幾度となく繰り返し、開発を進めました。その結果、日本で唯一の革新的なサービスを事業化することに成功。今回の経験により、特にWEBを用いた帳票・書類作成システムにおいて多くの知見を得ることができたといいます。今後は不動産売買にかかわらず帳票・書類を作成する新サービスの提供を検討しています。



担当者が使いやすいようにデザインされた入力画面。データベースの共通活用により効率性を高め、実務ノウハウをシステム化します。

会社概要

■ 所在地：東京都世田谷区祖師谷三丁目1番23号 第二田中ビル ■ TEL：03-6676-9608
■ URL：https://www.fdb.co.jp ■ 代表取締役：宮崎 浩太 ■ 設立：2017年10月 ■ 資本金：990万円